

Dynapenia(筋力低下症)とMetabolic syndromeの併発とタンパク質と脂肪酸摂取との関連性

成果の特徴

既存の調査データから、**Dynapenia（筋力低下症）とMetabolic Syndromeを併発した女性は、タンパク質と脂肪酸の摂取量が有意に低い**ことが明らかになりました。

成果の内容

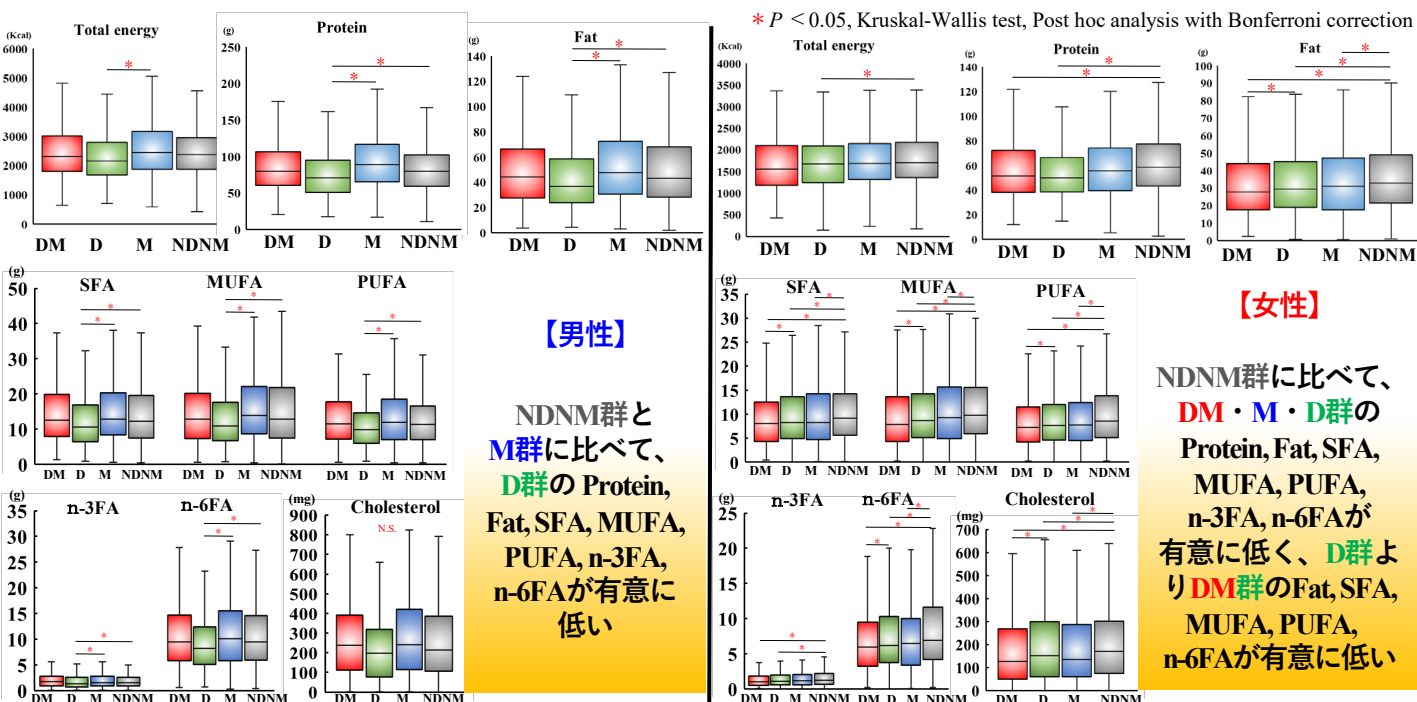
Dynapenic-Metabolic syndrome; DM
(男: 294、女: 383)

Dynapenia; D
(男: 326、女: 564)

Metabolic syndrome; M
(男: 264、女: 228)

Non-Dynapenia & Non-Metabolic syndrome; NDNM
(男: 976、女: 1,665)

- 対象者：2014～2016年の韓国国民健康栄養調査に参加した40～64歳の男女4,700名（男性：1,860名、女性：2,840名）
- **Dynapeniaの定義**：握力値 / BMIの第1三分位数に該当する者
- **Metabolic syndromeの定義**：腹囲（男性：90cm以上、女性：85cm以上）に該当し、かつ以下の項目のうち2つ以上が基準値を外れている者：空腹時血糖：100mg/dL以上、血圧：130/85mmHg以上、中性脂肪：150mg/dL以上、HDL-C（男性：40mg/dL以下、女性：50mg/dL以下）
- 質問紙調査：食品摂取頻度調査票（Food Frequency Questionnaire）



女性では、DynapeniaとMetabolic syndromeの併発群とDynapenia単独群、男性では、Dynapenia単独群の栄養素の摂取量が有意に低かった

想定される用途・連携希望先

本研究の成果は、今後筋機能の低下による老年症候群とMetabolic syndromeを予防及び改善するサプリメント開発の基礎資料として利用が想定されます。

タンパク質及び脂肪の摂取に関するサプリメントを開発する企業や老年医療に関わる企業との連携を希望します。

参考

Kim M, Kobori T. Nutrient Deficiency and Physical Inactivity in Middle-aged Adults with Dynapenia and Metabolic Syndrome: Results from a Nationwide Survey. *Nutrition & Metabolism*. 22:88, 2025.

担当研究者：金 美珍

所 属：食品研究部門

食品健康機能研究領域



農研機構

NARO 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構